

## 大井町立上大井小学校

研究テーマ：自立して学ぶ子どもの育成 ～自分の考えを伝え、みんなでつなぐ授業づくり～

### 1 実践の目的

本校では、「自立する子どもの育成」という学校教育目標のもと、「学び合い、できた喜びを実感できる授業」をテーマに、算数科と特別の教科道德の実践を通して、研究を進めてきた。特に昨年度は、「一人ひとりが輝き、みんなが安心して学べる授業づくり」をテーマに、授業のユニバーサルデザイン化をめざしてきた。

その中で、子どもたちが「分からない」を素直に表現したり、グループ活動などを通して自分の思いを話したりするようになってきた。一方で、「算数の基礎基本」、「道德で自分事として考えること」、「学習全般を通して相手意識のある話し方・聞き方」の定着が十分ではないという課題が見られた。これらの力を身に付けるためには、「自立して学ぶ子どもの育成」が必要であると考えた。そして、自立して学ぶためには、一人ひとりが考えをもって伝えること、自分たちで考えをつないでいくことが必要であると考え、「自分の考えを伝え、みんなでつなぐ授業づくり」をサブテーマとして設定した。

### 2 実践の内容

#### (1) 主体的に学び合うための手立て

##### ①算数科の授業実践

##### ○「困った！分からない！」を生かす

子どもの疑問を共有することで、課題を焦点化し、ねらいを達成できるようにした。

例 3年算数

23÷4=5あまり3  
までは、わかるけど、  
あまりの3をどうしよう…。

図をかけばわかるよ！



複数の考えが出る場面を設定することで、数学的な表現の質が高まるようにした。

例 5年算数

どれが正しいの？

小数点はどこに打てばいいの？

みんなで考えよう！



##### ○単元を通して同じ学習展開で学ぶ

毎時間同じ展開で学ぶことで、子どもが見通しをもって学習できるようにした。

例 2年算数

ワークシートを配ります。

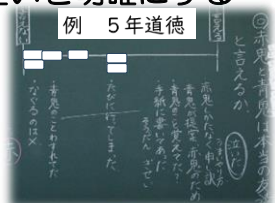
これが楽しみなんだよ～



##### ②特別の教科道德の授業実践

##### ○考えを見える化して違いを明確にする

心のメーターなどを用いることで、友達の考えとの違いが分かり、話したくなるようにした。



##### ○明確な発問で話し合いやすくする

明確な発問にすることで、一人ひとりが考えをもち、話しやすくした。

例 6年道德

あなたならどちらに行きますか？

やっぱり男の子の方に行くべきだ！

大劇場に行った方がいい！なぜなら…



##### ○役割演技で表現する

役割演技で表現することで、登場人物の気持ちを想像しやすくした。

例 1年道德

どんな声をかけたの？

友達になろうよと言いました！



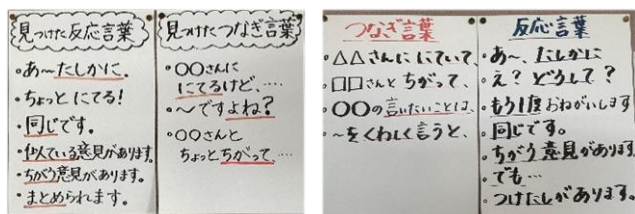
### ○聞き方・話し方名人「かみおおい」の掲示

昨年度までの研究で作成した掲示を活用することで、基本的な聞き方・話し方をいつでも振り返ることができるようにした。

聞き方名人 かみおおい	話し方名人 かみおおい
<b>か</b> おを見て、	<b>か</b> おを見て、
<b>み</b> んな 集中、	<b>み</b> んに 聞こえる声で、
<b>お</b> もい を くらべ、	<b>お</b> もい が つたわるように、
<b>お</b> わりまで、	<b>お</b> わりまで、
<b>い</b> い しせい で 聞く。	<b>い</b> い 姿勢 で 話す。

### ○反応言葉・つなぎ言葉の掲示

子どもが見つけた言葉を教室に掲示することで、困ったときに子どもが振り返って活用できるようにした。



### ○話しやすい学習形態

机をコの字型にしたり、グループの形にしたりすることで、子ども同士が顔を見て話しやすくなった。また、発表の際に教師が教室後方に立つなど、立ち位置を工夫することで、話し手が聞き手の方を見て話しやすくなった。



### ○教師の問い返し

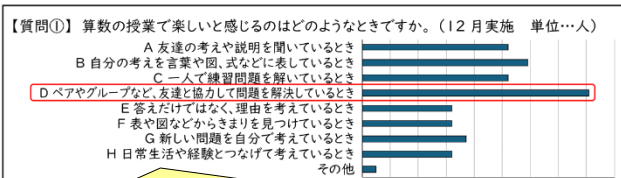
子どもたちだけで話し合いを進めていくだけではなく、大事な場面では、教師が問い返すことで、一人ひとりが自分の言葉で表現できるようにした。



## 3 実践の成果と課題

### (1) アンケート結果から見る成果と課題

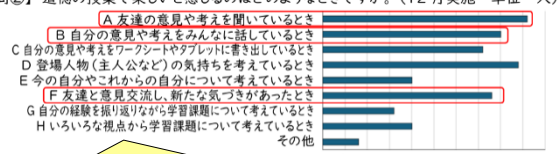
12月に町で共通したアンケートを行ったところ次のような結果が見られた。



「友達と協力して問題を解決しているとき」と答えた子どもが最も多い！  
<理由>

- ・いろいろな考えや新しい考えが出るから。
- ・自分が分からないときに話し合える(教えてくれる)から。
- ・少ない人数の方が話しやすいから。

【質問②】道徳の授業で楽しいと感じるのはどのようなときですか。(12月実施 単位…人)



自分の意見を話したり、友達の考えを聞いたりするときに楽しく感じている！  
<道徳の授業が好きな理由>

- ・気持ちを考えることが楽しいから。
- ・正解がない(間違えがない)から。
- ・自分の意見を言える(発言しやすい)から。

### (2) 教員の見取りによる子どもの変容

今年度の研究を通して、次のような子どもの変容が見られた。

○みんなの方を向いて話すこと、話している人を見て聞くことが習慣付いてきた。

○「〇〇さんと似ていて(違って)」など友達につなげて話すようになってきた。

○「でも」「だって」など、つなぎ言葉を使って話すようになってきた。

●学び合うための基礎基本の定着が十分でない。

●「学びたい」「できるようになりたい」という主体的な姿が足りない。

●全員が積極的に話し合いに参加する姿をめざしたい。

●語彙の習得が十分でない。

## 4 今後の展開

このように、友達と学び合うことの楽しさを感じたり、基本的な話し方・聞き方が身に付いてきたりする成果があった。しかし、語彙や基礎基本の定着、主体的に学ぼうとする姿勢には課題が見られた。次年度は国語科を中心に研究を進めていくことになるが、今後もこれまでの研究を生かし、さらに自立して学ぶ子どもの育成をめざしていきたい。